

教職課程【こども教育学科対象】

教職課程の概要

龍谷大学短期大学部の教職課程は、教員を目指す学生のために設置されたものであり、これまで多くの優秀な人材を教育界に送り出してきたという誇るべき実績を持っています。

教育改革が叫ばれる今日、教員の資質向上が特に大きな課題となっています。そのため本学では、教科等に関する確かな専門的知識を身につけ、その上に、広く豊かな教養、人間の成長・発達についての深い理解、生徒に対する教育愛情、教育者としての使命感等を持ち、これらを基盤とした実践的指導力を養成することを目的として教職課程を編成しています。

教員は常に生徒と向き合い、実践的に対応しなければなりません。単なる批判者ではなく、何事にも自主的・主体的・集団的な取組ができる力を身につけてほしいものです。また、積極的・意欲的に教職を目指すとともに、社会的な常識も身につけるよう心がけてください。教職課程の中で教育実習は大きな意味をもちます。教育実習は学校現場で行うので、社会的な責任を負うことにもなります。みなさんが十分に研鑽を積み、実り豊かな教育実習を行い、また、教員採用試験を突破して教壇に立つて欲しいと願っています。

なお、短期大学部の教職課程は、法定最低限度以上の講義を開設しています。また、教免法関係の変更も多く、免許取得の道が複雑にもなっていますので、この履修要項をよく読み、理解することが大切です。

※ポータルサイト・掲示板等、常に注意を

幼稚園免許状教職課程履修者はポータルサイト・掲示板・manaba等を常に見るように心がけてください。

また、諸手続や説明会等への参加は厳守してください。無断欠席等の場合、履修できなくなることがあります。

(1) 短期大学部において取得できる教育職員免許状の種類

教育職員免許法に基づき、短期大学部が認定を受けている免許状の種類は下記のとおりです。

学 科	免許状の種類
こども教育学科	幼稚園教諭二種免許状

(2) 教育職員免許状の授与を受けるための基礎資格と最低修得単位数

『教育職員免許法』に定める法律上の最低修得単位数は、下記のとおりです。そのほかに、『教育職員免許法』第5条および『教育職員免許法施行規則』第66条の6に定める「日本国憲法」2単位、「体育」2単位、「外国語コミュニケーション」2単位、「情報機器の操作」2単位が必要です。

なお、本学の教職課程で免許を取得する為に必要な単位数等については、本学が定める履修基準により、下記の表に記載している科目の区分や単位数とは異なりますので、留意してください。

免許状の種類	基礎資格	最低修得単位数						合計
		66条の6に定める科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	
幼稚園教諭二種免許状	短期大学士の学位を有すること	8	12	6	4	7	2	39

(3) 短期大学部で教員免許状【幼稚園教諭二種免許状】を取得するための履修について

短期大学部で下記教員免許状を取得するには、基礎資格を卒業時に充たすことと、次のように単位を修得することが必要です。

免許状	基礎資格	本学における最低修得単位数						合計
		66条の6に定める科目	領域及び保育内容の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	
幼稚園教諭二種免許状	短期大学士の学位を有すること	10	14	10	4	7	—	45

(4) 幼稚園教諭二種免許状 履修について

1) 免許法施行規則 66 条の 6 に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目		履修要件
	授業科目	単位数	
日本国憲法	法学（日本国憲法を含む。）	2	必修
体育	スポーツ文化ⅠA	2	必修
	スポーツ文化ⅠB	2	必修
外国語コミュニケーション	英語Ⅰ	2	必修
情報機器の操作	情報処理基礎	2	必修

教職課程

2) 教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設授業科目		履修要件	
科目区分	各科目に含めることが必要事項	授業科目	単位数		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	幼児と健康	1	必修
		人間関係	幼児と人間関係	1	必修
		環境	幼児と環境	1	必修
		言葉	幼児と言葉	1	必修
		表現	幼児と表現A	1	必修
			幼児と表現B	1	必修
	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容総論	1	必修	
		保育内容「健康」の指導法	1	必修	
		保育内容「人間関係」の指導法	1	必修	
		保育内容「環境」の指導法	1	必修	
		保育内容「言葉A」の指導法	1	必修	
		保育内容「表現A」の指導法	1	必修	
		保育内容「表現B」の指導法	1	必修	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育原理・社会学	2	必修	
	教職の意義及び教育の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2	必修	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	必修	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援保育	2	必修	
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程総論	2	必修	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法論	2	必修	
	・幼児理解の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	幼児理解と教育相談	2	必修	
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習	5	必修	
	教職実践演習	保育・教職実践演習 (幼稚園)	2	必修	

3) 「教育実習」の受講資格について

「教育実習」は、1年次「教育実習（春期）」と2年次「教育実習」からなります。それぞれ受講するには、次の条件を充たしていることが必要です。

① 「教育実習（春期）」 ※ 1年次

以下に掲げる科目を修得済みであること。

・「教職論」	2単位	1年次 後期
・「幼児と環境」	1単位	1年次 前後期
・「保育内容総論」	1単位	1年次 前期
・「幼児と表現A」	1単位	1年次 前前期

② 「教育実習」 ※ 2年次

以下に掲げる科目を修得済みであること。

・「幼児と健康」	1単位	1年次 前後期
・「幼児と言葉」	1単位	1年次 後後期
・「教育方法論」	2単位	1年次 後期
・「幼児と人間関係」	1単位	1年次 前後期・後後期
・「特別支援保育」	2単位	1年次 後期
・「音楽I」	1単位	1年次 前前期・前後期・後後期
・「教育実習（春期）」		1年次 後期

条件となる科目が不合格（単位未修得）の場合、2年間での資格取得が不可能となるので注意してください。